

取扱説明書

リップルノイズスキャナ

SC-83

—— 保証規定 ——

本製品は当社の厳密な製品検査に合格したものです。

納入後1年間に故障等により初期の目的、仕様を満たさなくなった場合で、その原因が当社の製造上の責任による場合は無償にて修理いたします。

お買い上げの商社または当社にお申し出ください。当社工場内にて修理いたします。

但し、次の場合には有償で修理させていただきます。

1. 本製品の説明書に記載された使用方法および注意事項に反するお取扱いによって生じた故障・損傷の場合。
2. 当社の承認なく改造をした場合。
3. お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等、お客様のお取り扱いが適正でないため生じた故障・損傷の場合。
4. 火災・地震・水害等の天災地変による故障・損傷の場合。
5. 異常入力電圧により生じた故障・損傷の場合。
6. 技術者を派遣した場合。

この保証は日本国内に限り有効です。

This warranty is valid only in Japan.

著作権について

本取扱説明書の内容は著作権法に基づき(株)計測技術研究所にその全ての権利があります。書面による許可なくまたその手段を問わず、複写等を行うことを禁止致します。

取扱説明書について

本書は、SC-83 リップルノイズスキャナについて、説明しています。
必ずご使用前に、本書をよくお読みください。その上正しくお使いください。
本書はいつでも見られるように保存してください。
製品移動時には本書も必ず添付してください。

本書は、バージョンアップ等による仕様変更等に伴い予告なく変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

安全にご使用いただくために

本器を安全にご使用いただくための注意事項です。内容をご理解いただき、必ずお守りください。当社では、注意事項を守らなかった場合の事故、不適切な使用方法等によって発生した事故についての責任は、負いかねますのでご了承ください。

安全記号（マーク）について

本器を安全に正しくお使いいただくため、本書および製品には次のような記号を使用しております。記号の意味をご理解いただき、常に安全に心がけてご使用いただくようお願いいたします。



本器および本書で使用しているシンボルラベルで警告・危険・注意すべき箇所または、内容を知らせる記号です。本器上にこのラベルが表示されている場合は、本取扱説明書の該当箇所を参照する必要があることを示します。



正しく操作しないと、使用者が重度の人身障害（死亡や重症など）を負う可能性がある事を示します。記載内容を十分にご理解頂いてから、手順に従ってください。



正しく操作しないと、本器や他の接続機器の損傷および、使用者が軽度の人身障害につながる可能性があることを示します。記載内容を十分にご理解頂いてから、手順に従ってください。



禁止する行為を示します。

補足

操作手順などの補足説明を記載しています。

注記

製品性能上で注意することを記載しています。

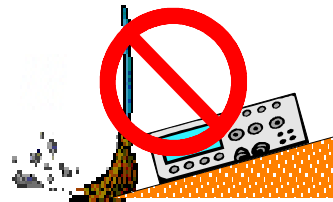
■設置環境



安全のために、爆発性および腐食性のガスが周囲にあるような環境では使用しないでください。強電磁界環境下での使用は機器の特性上、入力ケーブルに誘起したノイズも入力信号として測定されます。測定値に影響をおよぼす恐れがありますので、強電磁界環境下での使用は避けてください。



高温になる場所、直射日光のあたる場所や湿度の高い場所は避けてください。規定の周囲条件で使用してください。結露した場合には完全に乾くまで本器を使用しないでください。



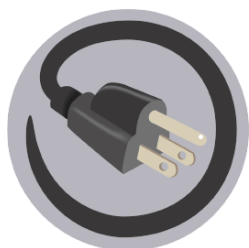
ほこりやチリの多い場所や、傾いた、あるいは振動のある場所での使用は避けてください。風通しの悪い場所での使用は避けてください。冷却のため、吸気口や排気口を物で塞がないように周囲に十分な空間を確保してください。

■機器の分解



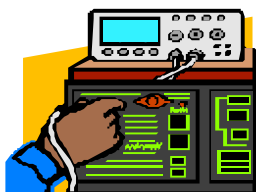
本器は、メンテナンス時にリレーを交換する場合以外では分解をしないでください。本器の内部には、高電圧など身体に危険を及ぼす箇所がありますので、カバーやパネルなどを取り外すことはしないでください。

■入力電源



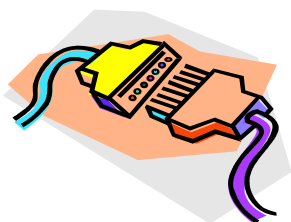
本製品の入力電源電圧は、必ず定格範囲内でご使用ください。電源ケーブルは、使用される地域や国の法令に準じたもの（電圧・電流）をご使用ください。

■オペレータ



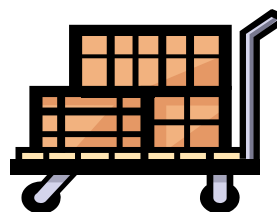
本器は、適切な電気知識のある方が十分に本書の内容を理解した上で使用してください。電気の知識がない方が使用する場合は、必ず電気の知識を有する方の監督下にてご使用ください。

■機器の接続



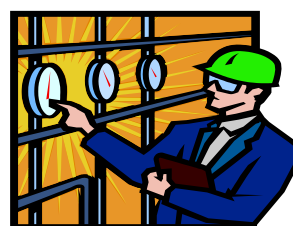
他の機器との接続、取り外しの際には、必ず各々の機器の電源を切断してください。電源を切っただけでも、機器に電圧が残っている場合があります。電圧が下がったことを確認してから作業を行ってください。

■移動



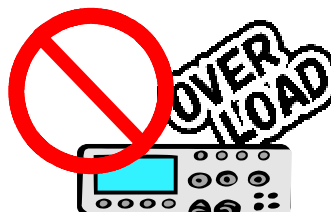
電源スイッチを OFF し、配線ケーブルをすべて外してから移動してください。本器を移動する際は、取扱説明書も添付してください。本器を輸送する場合には、必ず専用の梱包材を使用してください。専用の梱包材が無い場合は同等以上の梱包材を使用してください。

■保守・点検



保守・点検を行う際は感電事故を防ぐために、必ず電源プラグを抜いてください。本器の安全性を維持するため、定期的な保守、点検、清掃をお勧めします。また本器の性能を維持するため、定期的な校正をお勧めします。

■オーバーロード



本器のコネクタおよび入力端子を、本書に記載されている用途以外で使用しないでください。また、仕様範囲外の電圧を印加しないでください。

■修理・調整



本器の修理や調整は当社にて行います。修理や調整が必要な場合は、購入元の代理店または当社へご連絡ください。

開梱時の確認

開梱しましたら、輸送中における破損がないか、また付属品が正しく添付されているかご確認ください。

万一、本器の破損および付属品の欠品がございましたら、すぐに購入元の代理店または当社へご連絡ください。

付属品

本製品には下記の付属品が同梱されております。

品名	型名	数量
コネクタ	57-30240	1
同軸ケーブル	BPK1W-58	1
電源ケーブル（3極プラグ付き）	電源ケーブル	1
CD-ROM（取扱説明書）	M-2531	1

■ 注記 開梱されたら直ぐに内容物を確認してください。

- ◆ 輸送中における製品の破損がないか確認してください。
- ◆ 付属品が正しく納品されているか確認してください。

移動時の注意

本器の移動の際は、下記の注意事項を守ってください。

⚠ 警告 感電の危険があります。

- ◆ 安全のために、移動の際には必ず、電源スイッチは OFF してください。
- ◆ 電源を切っけていても、機器に電圧が残っている場合があります。電圧が下がったことを確認してから作業を行ってください。

⚠ 注意 機器を破損することがあります。

- ◆ 本器を輸送する場合、専用の梱包材（納品時の梱包材）を使用してください。
- ◆ 専用の梱包材が無い場合には、同等以上の梱包材を必ず使用してください。

目次

保証規定.....	2
著作権について.....	2
取扱説明書について.....	2
安全にご使用いただくために.....	3
開梱時の確認.....	5
付属品.....	5
移動時の注意.....	5
第1章 序章	7
概要.....	7
特長.....	7
使用上の注意.....	8
1) 配線時の注意.....	8
2) 設置場所について.....	9
3) 設置姿勢.....	9
4) ノイズに対する注意.....	9
5) 静電気に対する注意.....	9
6) 故障と思われる場合は.....	9
第2章 各部の名称と機能	10
フロントパネル.....	10
リアパネル.....	11
第3章 SC-83 のコントロール方法	12
ビットでコントロールする場合.....	12
バイナリーコードでコントロールする場合.....	13
第4章 SC-83 を 2台連動させてコントロールする方法	14
ビットでコントロールする場合.....	14
バイナリーコードでコントロールする場合.....	15
第5章 接続方法	16
SC-83 とリップルノイズメータの接続.....	16
SC-83 を2台連動で使用するときの接続.....	17
第6章 コネクタのピン配置	18
CONT IN (使用コネクタ 57FE-40240-20S:DDK).....	18
AUX CONT OUT (使用コネクタ 57FE-40240-20S:DDK).....	18
第7章 外部信号と SC-83 との接続例	19
リレーを使用する場合.....	19
フォトカプラを使用する場合.....	20
第8章 メンテナンス	21
リレーの交換.....	21
故障と思われる場合の対応について.....	25
第9章 仕様	26
1) 機能、性能.....	26
2) 内部構成.....	27
3) 外観寸法図.....	28

第1章 序章

概要

本器 SC-83 は、リップルノイズメータ RM-104 専用のチャンネル切替スキャナです。スイッチング電源のリップルノイズを測定する際に、複数チャンネルの信号を切り替えることができます。

デジタル I/O または、手動にて 8 チャンネル入力の切り替えができ、さらにもう 1 台の SC-83 を接続することにより、最大 16 チャンネル入力の切り替えができます。

■注記

SC-83 を 1 台追加接続することにより、最大 16 チャンネル入力の切り替えができます。

◆「16 チャンネル入力切り替え」の場合は、全入力 OFF の設定は出来ません。
(いずれかの入力を選択される状態になります)

SC-83 を 2 台接続でお使いいただく際に、SC-83 を追加でご購入いただく場合には、オプションの専用ケーブル SCSC-05 が別途必要となります。

特長

- (1) 周波数帯域が広い
各チャンネルとも DC~50 MHz (-2.0 dB TYP)
DC~100 MHz (-4.0 dB TYP)
- (2) コモンモードノイズ除去比が大きい
各チャンネルとも、DC~50 MHz の間で 30 dB 以上
- (3) チャンネル切換コントロールが簡単
デジタル I/O でコントロールする時、各チャンネルをビットで選択するかバイナリーコードで選択するかを切替えることができます。フォトカプラなどでコントロールする際に外部電源を必要としません。

使用上の注意

1) 配線時の注意

入力と出力を間違えないよう、正しく配線してください。間違えますと故障の原因になります。

配線などの作業は必ず入力の配線を外した状態で実施してください。

電源ケーブルは付属の 3 極プラグ付き電源ケーブルを使用し接続してください。アースが正しく接地されていない場合測定値が不安定になる場合があります。

また、日本以外でご使用になる場合は、使用される地域や国の法令に準じたもの（電圧・電流）をご用意ください。

- 機器側は IEC 60320 の C14 タイプ（オス）
- AC 電源ケーブル側（メス）は C13/C15 タイプ
- AC 電源ケーブルの定格電流は 5 A 以上

あるいは当社営業担当・代理店へお問合せください。



注意

機器を破損することがあります。

- ◆ 3 極プラグ付き電源ケーブルは、AC 電源から本製品を容易に切り離せます。緊急時にプラグをコンセントから外すことができるように、コンセントの周辺には十分な空間を確保してください。



警告

感電の危険があります。

- ◆ 電源ケーブルは、フロントパネルの POWER スイッチを OFF にしてから接続してください。
- ◆ 電源プラグは、接地極付きコンセントに接続してください。

1. フロントパネルの POWER スイッチを OFF にする。
2. リアパネルの AC インレットに電源ケーブルセットを接続する。
3. 電源ケーブルのプラグを接地極付きコンセントに差し込む。



警告

感電の危険があります。

- ◆ メンテナンスでカバーを開ける前には、必ず電源ケーブルを抜いて電源を OFF の状態にしてください。感電や故障の原因になる場合があります。

2) 設置場所について

高温多湿、ほこり、直射日光、可燃性や腐食性のあるガス、機械などによる振動を避けた場所を選んでください。

3) 設置姿勢

必ず底面を下にし、水平になる状態で御利用ください。横倒、倒立などさせますと故障の原因になる場合があります。

4) ノイズに対する注意

本装置の傍にはノイズに影響を受けやすい機器を置かないでください。

5) 静電気に対する注意

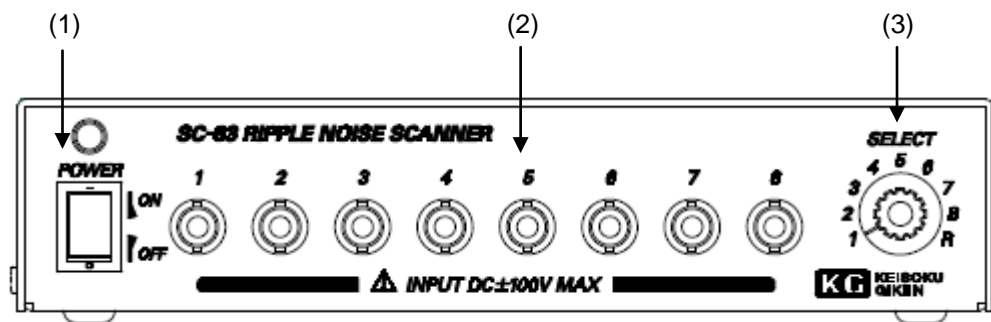
使用しないコネクタ内部のピンへ直接、静電気を印加する事は行わないでください。故障の原因となります。

6) 故障と思われる場合は

故障と思われる場合は直ちにパワースイッチをOFFにし、入力の配線を外してください。放置されますと火災等の原因になる場合があります。

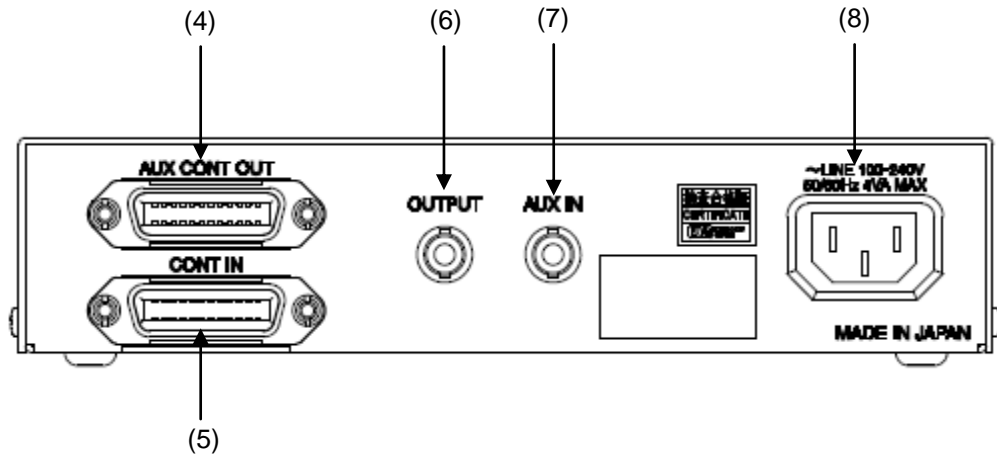
第2章 各部の名称と機能

フロントパネル



- | | | |
|-----|---------------------------------|---|
| (1) | POWER | 本器の電源スイッチです。
スイッチを ON にすると LED が点灯します。 |
| (2) | 信号入力コネクタ
(CH1 ~ CH8) | 信号入力用のコネクタです。 |
| (3) | SELECT | 手動で、チャンネルを切替える時に使用します。 |

リアパネル



(4)	AUX CONT OUT	もう1台の SC-83 を連動でコントロールするための出力コネクタです。 連動させる SC-83 の CONT_IN と接続します。
(5)	CONT IN	チャンネル切換をデジタル I/O でコントロールする際の入力コネクタです。
(6)	OUTPUT	信号出力用コネクタです。リップルメータまたは電子負荷装置（リップルメータ機能付）を接続します。
(7)	AUX IN	もう1台の SC-83 を連動でコントロールした時の信号入力用コネクタです。 連動させる SC-83 の OUTPUT と接続します。
(8)	AC 100 V~240 V	入力電源ケーブルを接続する入力インレットです。 定格 AC 100 ~ 240 V。

第3章 SC-83 のコントロール方法

接続方法は、「第5章 接続方法」を参照してください。

ビットでコントロールする場合

- (1) SELECTスイッチ (ロータリースイッチ)をRにします。
- (2) CONT_INコネクタのB/C信号（「第6章 コネクタのピン配置」参照）をHigh(Open)にします。
- (3) CONT_INコネクタの下記の信号をLow(Short)にすると、割り当てられた入力信号が出力されます。

信号名	チャンネル
CONT1	1
CONT2	2
CONT3	3
CONT4	4
CONT5	5
CONT6	6
CONT7	7
CONT8	8
M/S	AUX IN

注) 2つの入力信号を同時に選択することはできません。

バイナリーコードでコントロールする場合

- (1) SELECTスイッチ (ロータリースイッチ)をRにします。
- (2) CONT_INコネクタのB/C信号(「第6章 コネクタのピン配置」参照)をLow(Short)にします。
- (3) CONT_INコネクタの下記の信号を表のような組み合わせにすると、コードに割り当てられた入力信号が出力されます。

信号名				チャンネル
CONT 1	CONT 2	CONT 3	CONT 4	
High	High	High	High	1
Low	High	High	High	2
High	Low	High	High	3
Low	Low	High	High	4
High	High	Low	High	5
Low	High	Low	High	6
High	Low	Low	High	7
Low	Low	Low	High	8
X	X	X	Low	AUX IN

X : High/Low どちらでも構いません。

コネクタのピン配置は「第6章 コネクタのピン配置」を参照してください。

第4章 SC-83 を 2台連動させてコントロールする方法

接続方法は、「第5章 接続方法」を参照してください。

ビットでコントロールする場合

- (1) SELECTスイッチ (ロータリースイッチ)をRにします。
- (2) マスタ側のCONT_INコネクタのB/C信号(「第6章 コネクタのピン配置」参照)をHigh(Open)にします。
- (3) マスタ側のCONT_INコネクタの下記の信号をLow(Short)にすると、それぞれのビットに割り当てられた入力信号が選択され、マスタ側のOUTPUTより出力されます。

信号名									チャンネル
CONT 1	CONT 2	CONT 3	CONT 4	CONT 5	CONT 6	CONT 7	CONT 8	M/S	
Low	High	High	High	High	High	High	High	High	M1
High	Low	High	High	High	High	High	High	High	M2
High	High	Low	High	High	High	High	High	High	M3
High	High	High	Low	High	High	High	High	High	M4
High	High	High	High	Low	High	High	High	High	M5
High	High	High	High	High	Low	High	High	High	M6
High	High	High	High	High	High	Low	High	High	M7
High	High	High	High	High	High	High	Low	High	M8
Low	High	High	High	High	High	High	High	Low	S1
High	Low	High	High	High	High	High	High	Low	S2
High	High	Low	High	High	High	High	High	Low	S3
High	High	High	Low	High	High	High	High	Low	S4
High	High	High	High	Low	High	High	High	Low	S5
High	High	High	High	High	Low	High	High	Low	S6
High	High	High	High	High	High	Low	High	Low	S7
High	High	High	High	High	High	High	Low	Low	S8

- 注 1) 2つの入力信号を同時に選択することはできません。
 注 2) Mn はマスタ側、Sn はスレーブ側のチャンネルを表します。

バイナリーコードでコントロールする場合

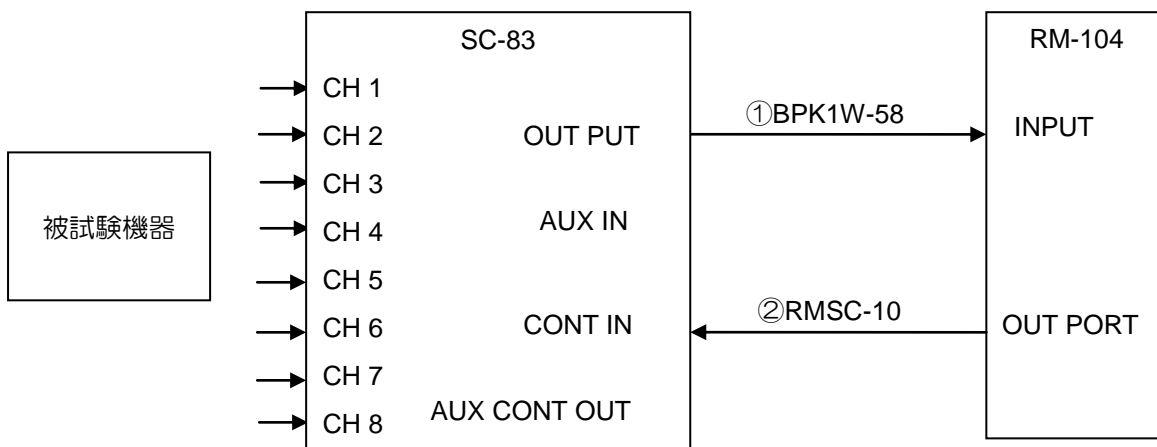
- (1) SELECTスイッチ（ロータリースイッチ）をRにします。
- (2) マスタ側のCONT_INコネクタのB/C信号（「第6章 コネクタのピン配置」参照）をLow(Short)にします。
- (3) マスタ側のCONT_INコネクタの信号を表のような組み合わせにすると、それぞれのコードに割り当てられた入力信号が選択され、マスタ側のOUTPUTより出力されます。

信号名				チャンネル
CONT 1	CONT 2	CONT 3	M/S	
High	High	High	High	M1
Low	High	High	High	M2
High	Low	High	High	M3
Low	Low	High	High	M4
High	High	Low	High	M5
Low	High	Low	High	M6
High	Low	Low	High	M7
Low	Low	Low	High	M8
High	High	High	Low	S1
Low	High	High	Low	S2
High	Low	High	Low	S3
Low	Low	High	Low	S4
High	High	Low	Low	S5
Low	High	Low	Low	S6
High	Low	Low	Low	S7
Low	Low	Low	Low	S8

注) Mn はマスタ側、Sn はスレーブ側のチャンネルを表します。

第5章 接続方法

SC-83 とリップルノイズメータの接続

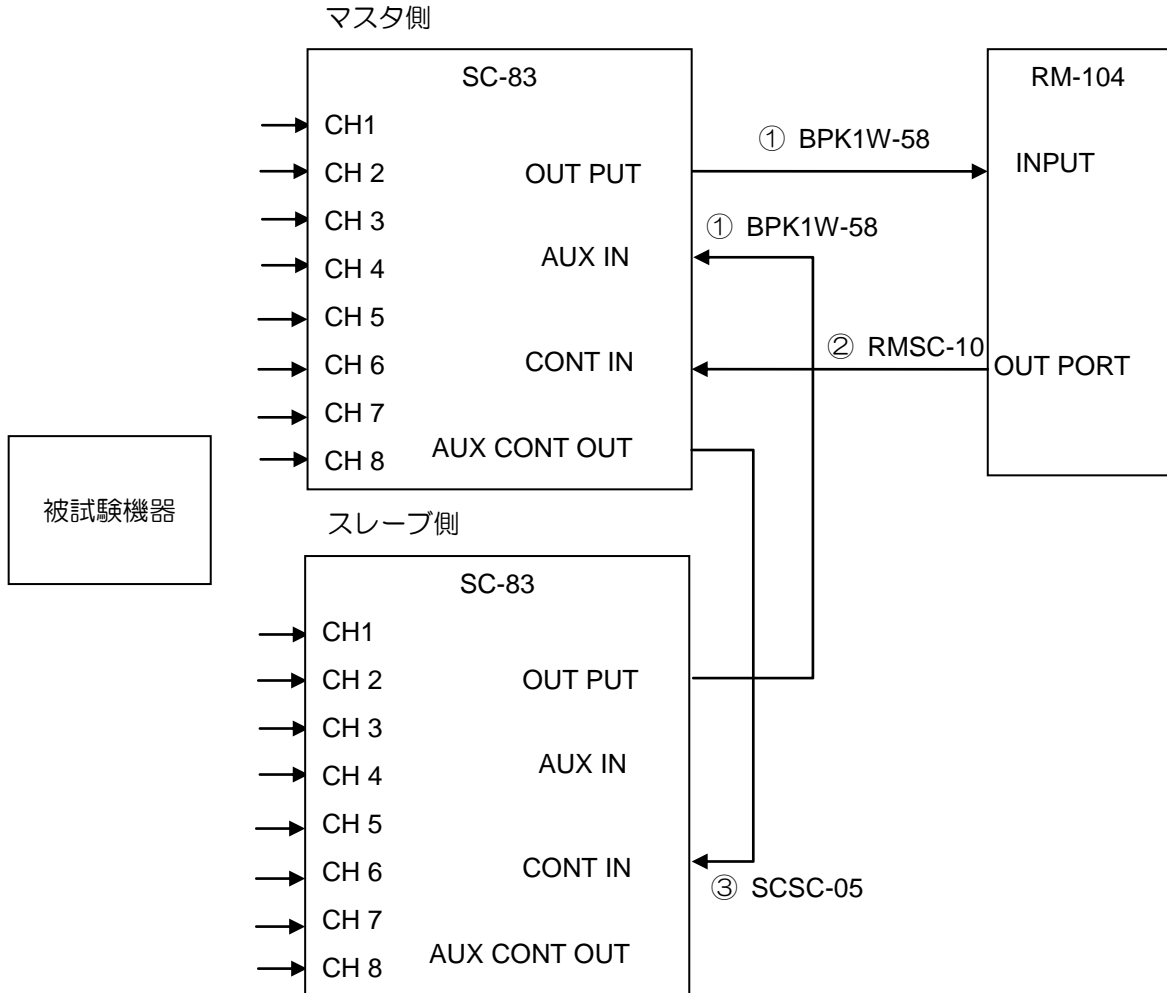


■注記 使用可能なリップルノイズメータについて。

- ◆ SC-83 はリップルノイズメータ RM-104 と旧モデル RM-103 に対応しています。

SC-83 を 2 台連動で使用するときの接続

SC-83 はマスタ/スレーブ接続にて最大 16CH まで増設可能です。



① BPK1W-58 (付属品)

被試験機器からのノイズを検出する BNC ケーブルです。

② RMSC-10 (オプション)

リップルノイズメータ RM-104 の「OUT PORT」コネクタと SC-83 の「CONT IN」コネクタを接続する専用接続ケーブル RMSC-10 です。

③ SCSC-05 (オプション)

SC-83 のマスタ側の「AUX CONT OUT」コネクタとスレーブ側の「CONT IN」コネクタを接続する専用ケーブル SCSC-05 です。

■ **注記** 使用可能なリップルノイズメータについて。

- ◆ SC-83 はリップルノイズメータ RM-104 と旧モデル RM-103 に対応しています。

第6章 コネクタのピン配置

CONT IN (使用コネクタ 57FE-40240-20S:DDK)

ピン番号	名称	詳細	ピン番号	名称	詳細
1	CONT 1	コントロール端子	13	GND	コントロール端子
2	CONT 2	コントロール端子	14	GND	コントロール端子
3	CONT 3	コントロール端子	15	GND	コントロール端子
4	CONT 4	コントロール端子	16	GND	コントロール端子
5	CONT 5	コントロール端子	17	GND	コントロール端子
6	CONT 6	コントロール端子	18	GND	コントロール端子
7	CONT 7	コントロール端子	19	GND	コントロール端子
8	CONT 8	コントロール端子	20	GND	コントロール端子
9	M/S	マスタ/スレーブ 状態設定	21	GND	コントロール端子
10	B/C	ビット/バイナリ コード設定	22	GND	コントロール端子
11	NC	—	23	NC	—
12	R STATE	リモート (R) 状態検出	24	GND	コントロール端子

注) NC : 信号はありません (適合コネクタ 57-30240 : DDK)

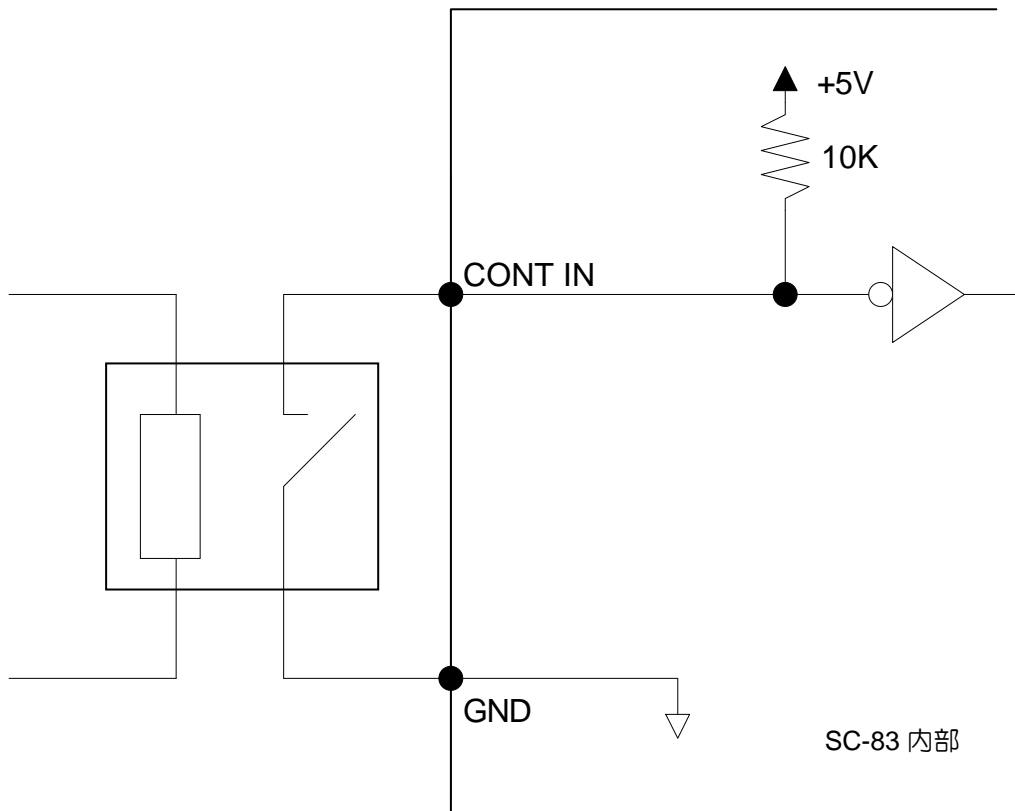
AUX CONT OUT (使用コネクタ 57FE-40240-20S:DDK)

ピン番号	名称	詳細	ピン番号	名称	詳細
1	CONT 1	コントロール端子	13	GND	コントロール端子
2	CONT 2	コントロール端子	14	GND	コントロール端子
3	CONT 3	コントロール端子	15	GND	コントロール端子
4	CONT 4	コントロール端子	16	GND	コントロール端子
5	CONT 5	コントロール端子	17	NC	—
6	CONT 6	コントロール端子	18	GND	コントロール端子
7	CONT 7	コントロール端子	19	GND	コントロール端子
8	CONT 8	コントロール端子	20	GND	コントロール端子
9	M/S	マスタ/スレーブ 状態設定	21	NC	—
10	B/C	ビット/バイナリ コード設定	22	GND	コントロール端子
11	NC	—	23	NC	—
12	R STATE	リモート (R) 状態検出	24	GND	コントロール端子

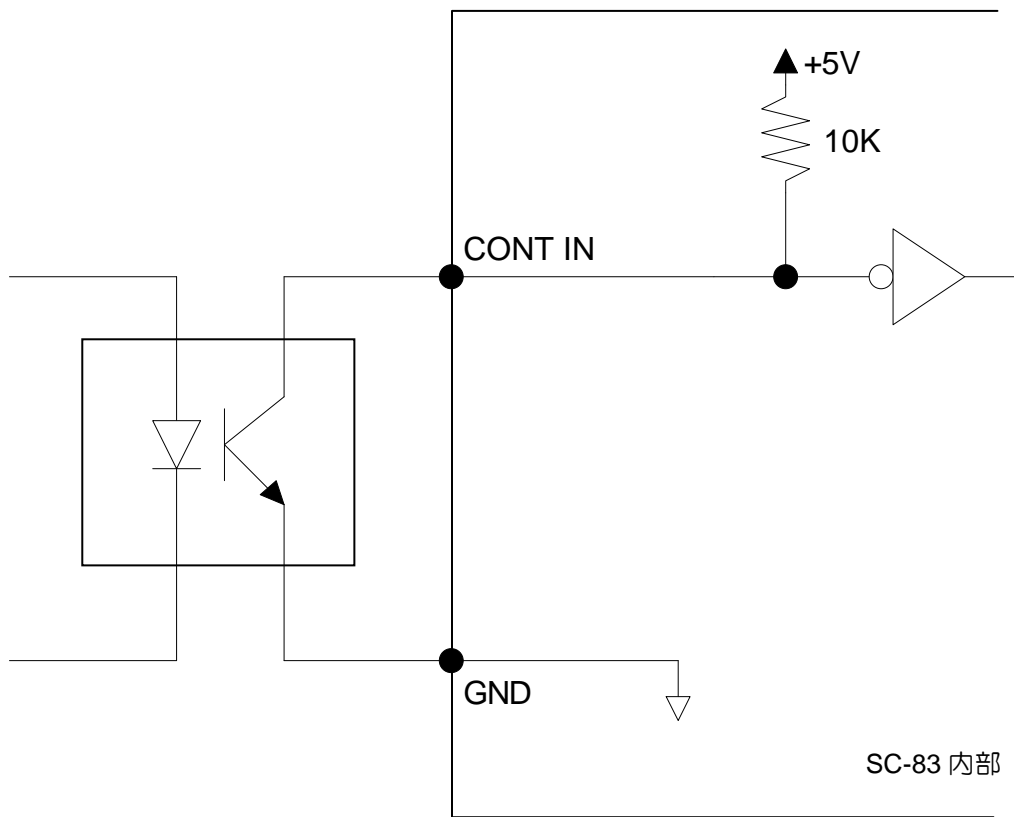
注) NC : 信号はありません (適合コネクタ 57-30240 : DDK)

第7章 外部信号とSC-83との接続例

リレーを使用する場合



フォトカプラを使用する場合



第8章 メンテナンス

リレーの交換

メンテナンスの際、リレーを交換することができます。

使用リレー：DIP-2M-05SN（沖田製作所製）

リレー交換の時期につきましては、お客様のご使用条件や環境により異なりますので第9章仕様 リレー交換の目安を参考に設定してください。

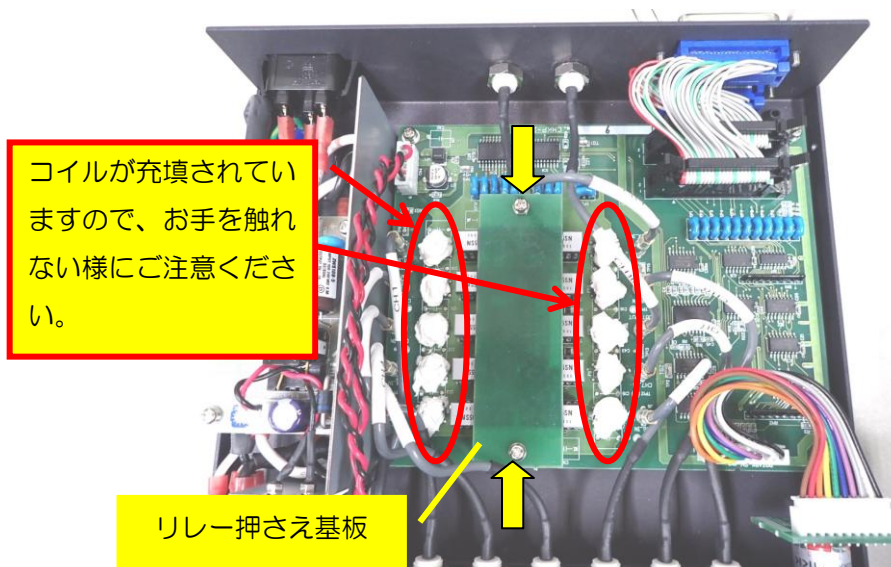
警告 感電の危険があります。

- ◆ カバーを開ける前に、全てのコネクタからケーブルを取り外し、必ず電源をOFFにしてください。

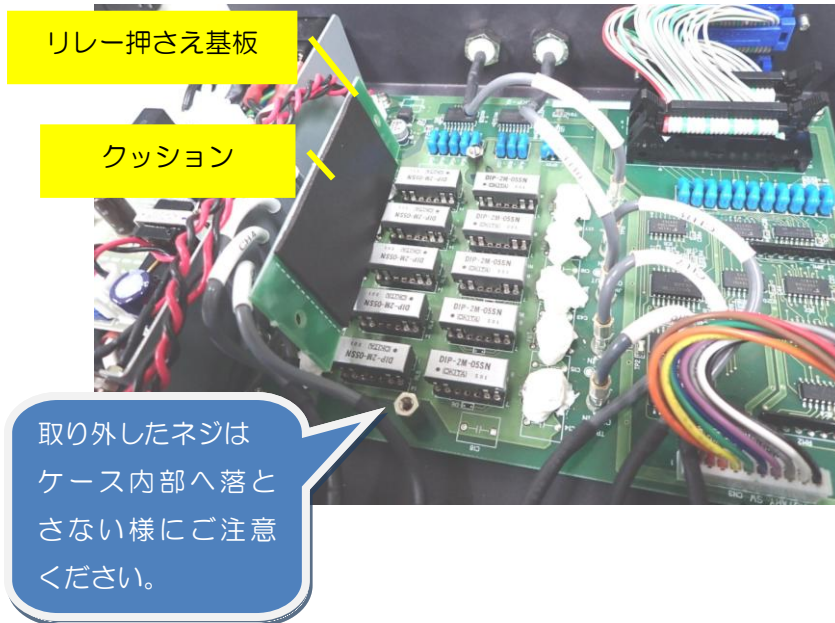
- 1) カバーの側面にあるネジを4か所外します。



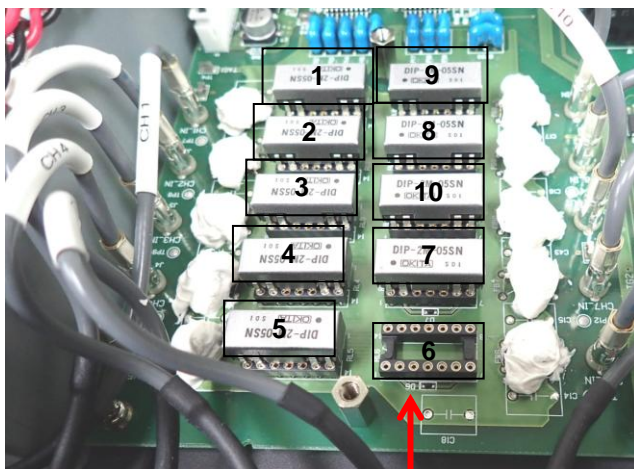
- 2) リレーの上部にあるリレー押さえ基板のネジを2か所外します。



- 3) リレー押さえ基板とクッションを取り外します。

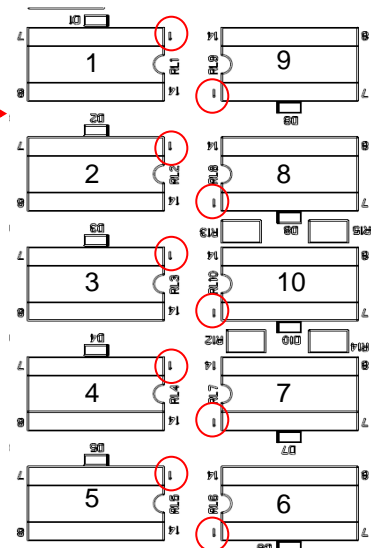
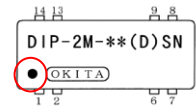


- 4) リレーを交換します。



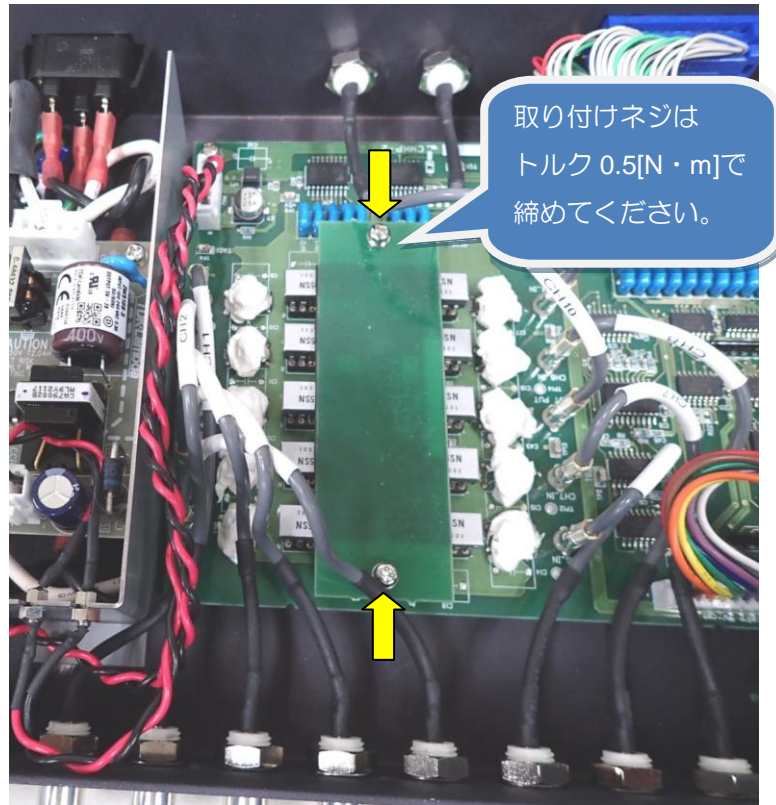
リレーの○印が1番ピンです。

リレーは、ピン番号の向きを間違えないようにご注意ください。



入力 CH 番号とリレーの番号が対応しています。例えば、選定している CH5 の入力電圧が出力されない場合はリレー5が故障の可能性がありますので交換が必要です。

- 5) クッションを下側にして、リレー押さえ基板を取り付けます。



- 6) 内部ケーブルを挟み込まない様にケーブルを寄せます。



⚠ 注意 機器を破損することがあります。

- ◆ ケーブルが仕切り板の上にかかると、カバーを取り付けた際に挟み込みケーブルを切断する恐れがあり危険です。
ケーブルを挟み込まない様に気をつけてください。

- 7) カバーを取り付け、側面にあるネジを4か所取り付けます。



故障と思われる場合の対応について

- 電源スイッチを ON にしても LED が点灯しない場合
 - 電源スイッチを OFF にし、入力チャンネルの接続を全て取り外してから、電源ケーブルがしっかり差し込まれているかをご確認ください。
 - 電源ケーブルが正しく接続され、電源スイッチを ON にしても LED が点灯していない場合機器が故障している可能性がありますので、当社サービスまでご連絡ください。
- リップルノイズメータ RM-104/RM-103 から入力切り替えができない場合
 - ロータリースイッチが「R」に設定されているかをご確認ください。
 - 電源スイッチを OFF にし、電源ケーブルを抜いた状態で、リップルノイズメータと SC-83 との接続ケーブルがしっかりと接続されている事をご確認ください。
 - 接続が正しい状態で、電源ケーブルを差し込み、電源スイッチを ON にした場合でも、リップルノイズメータから入力切り替えができない場合は、リモート接続部の故障の可能性があるので、当社サービスまでご連絡ください。
- 入力チャンネルへ電圧を入れても OUT PUT から出力されない場合
 - 接続の確認は電源スイッチを OFF にし、電源ケーブルを抜いた状態でご確認ください
 - ロータリースイッチが正しく設定されているかをご確認ください。
 - CONT IN コネクタがしっかり差し込まれているかをご確認ください。
 - BNC コネクタがしっかり差し込まれているかをご確認ください。
 - ロータリースイッチの設定、及び各種コネクタの接続が正しい状態で、各入力信号が OUT PUT から出力されない、あるいは値が大幅に低下している等の不具合がみられる場合は、内部のリレーが故障している可能性があります。リレーを交換してください。
 - 特定の入力チャンネルのみ出力されない場合は、特定の入力チャンネルに対応する番号のリレー及び隣接する番号のリレーに問題がある可能性があります。また、CH1～CH8 全てのチャンネルからの出力が出ない、あるいは非常に低い値を示している場合はリレー RL10 に問題がある可能性がありますので、リレーを交換してください。
- リレー交換を行っても出力されない場合
 - 機器が故障している可能性がありますので、当社サービスまでご連絡ください。
- SC-83 を拡張の為 2 台接続した際に、SC-83 のマスタ側からスレーブ側の操作ができない場合
 - SC-83 は 2 台共にロータリースイッチが「R」に設定されているかをご確認ください。
 - 増設専用ケーブル SCSC-05 が正しく接続されているかをご確認ください。
 - ロータリースイッチの設定、及び配線の接続が正しい状態で、増設した入力チャンネルの操作ができない場合は、機器が故障している可能性がありますので、当社サービスまでご連絡ください。
- 出力電圧が選択している入力チャンネルと異なる電圧を出力している場合
 - 機器が故障している可能性がありますので、当社サービスまでご連絡ください。
- チャンネルを切り替えても出力が切り替わらない場合
 - 機器が故障している可能性がありますので、当社サービスまでご連絡ください。

第9章 仕様

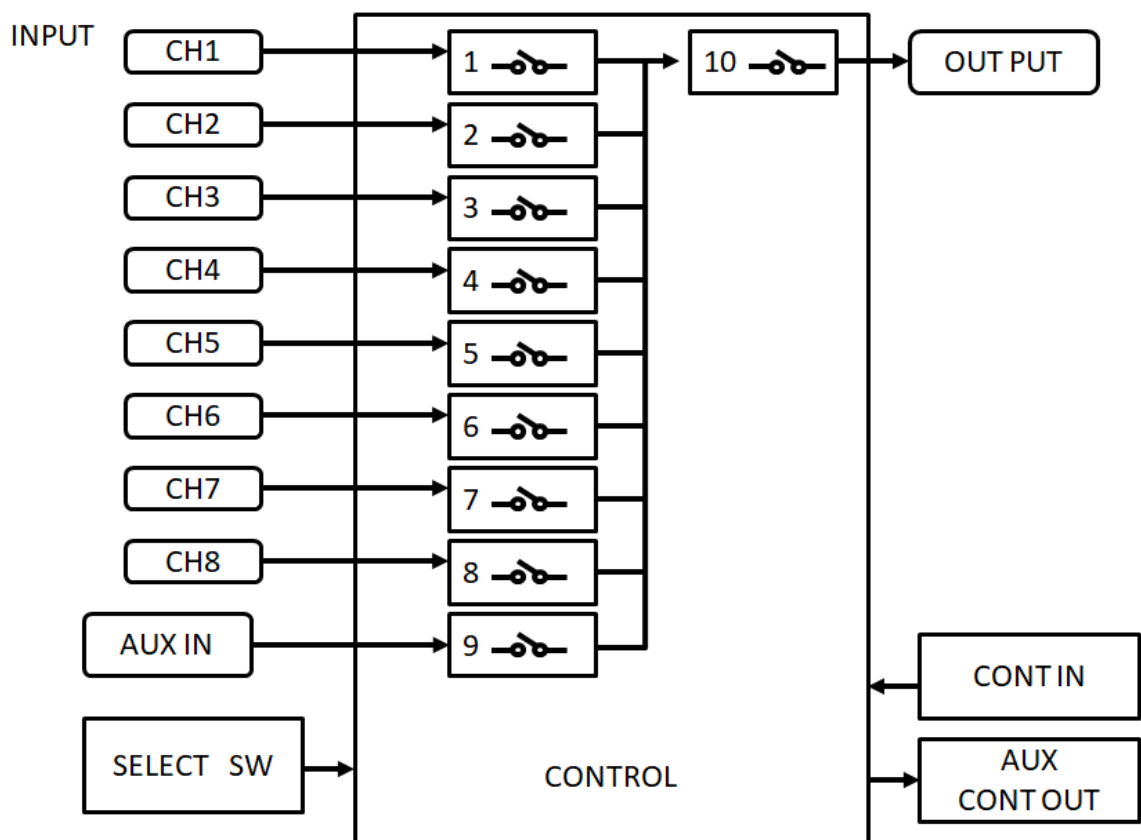
1) 機能、性能

型名		SC-83
信号切換部		
チャンネル数		8チャンネル + AUX.入力 最大 16チャンネル (SC-83 を 1 台追加接続する。SCSC-05 ケーブルが必要)
周波数帯域	DC ~ 20 MHz	-1 dB (TYP)
	DC ~ 50 MHz	-2 dB (TYP)
	DC ~ 100 MHz	-4 dB (TYP)
コモンモード ノイズ除去	DC ~ 50 MHz	-30 dB 以上
	DC ~ 100 MHz	-15 dB 以上
クロストーク	DC ~ 100 MHz	-30 dB 以上
切断電圧		DC 100 V
切断電流		0.5 A
接点接続方法		Break before Make
信号間耐電圧		DC 100 V
信号とフレーム間耐電圧		DC 100 V
コントロール部		
切換方法		マニュアルおよび外部コントロール
外部コントロール入力	入力電圧	0.0 ~ 5.0 V(TTL / CMOS 入力)
	切換時間	12 ms 以内
	コントロール	ビットおよびバイナリコード
	信号数	10
一般仕様		
入力電源電圧範囲		AC 85~264 V, 50 / 60 Hz (47~63)
消費電力		4 VA 以内
耐電圧		AC 1500 V 1 分間 (入力-FG 間、入力-測定端子間)
絶縁抵抗		DC 500 V 30 MΩ以上 (入力-FG 間、入力-測定端子間)
高度		2000 m 以下
冷却方式		自然空冷
環境条件	設置環境	屋内、水平設置 高温多湿、ほこり、直射日光、可燃性や腐食性のある ガス機械などの振動を避けた場所に設置すること。
	設置姿勢	必ず底面を下にし、水平になる状態で使用すること。
	動作温度/湿度範囲	0 °C ~ 40 °C / 20 % ~ 85 % RH 以下 (結露しないこと)
	保存温度/湿度範囲	-20 °C ~ 60 °C / 20 % ~ 85 % RH 以下 (結露しないこと)
外形寸法		225(W) × 49(H) × 187(D) mm (突起部含まず ※1)
質量		約 1.2 kg

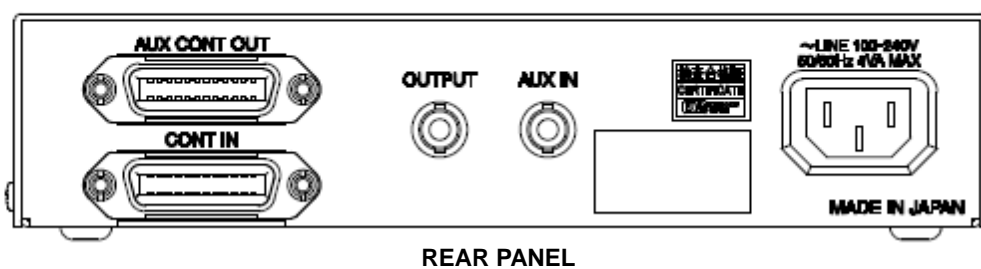
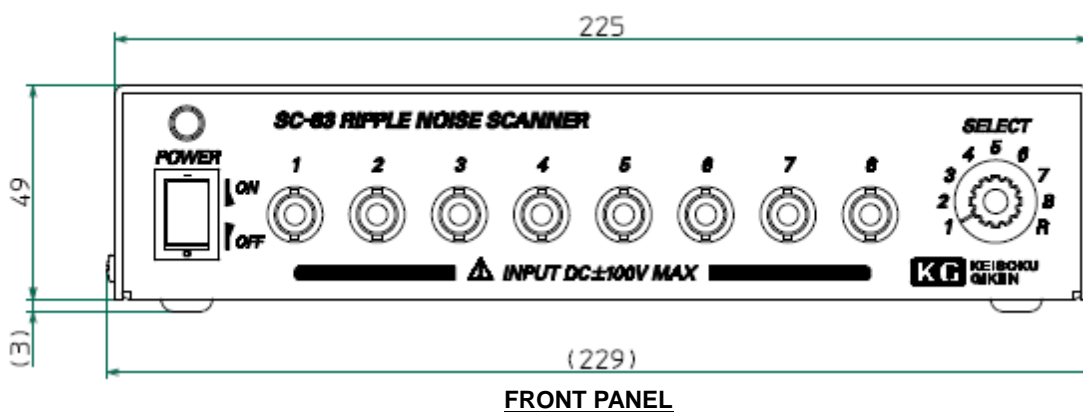
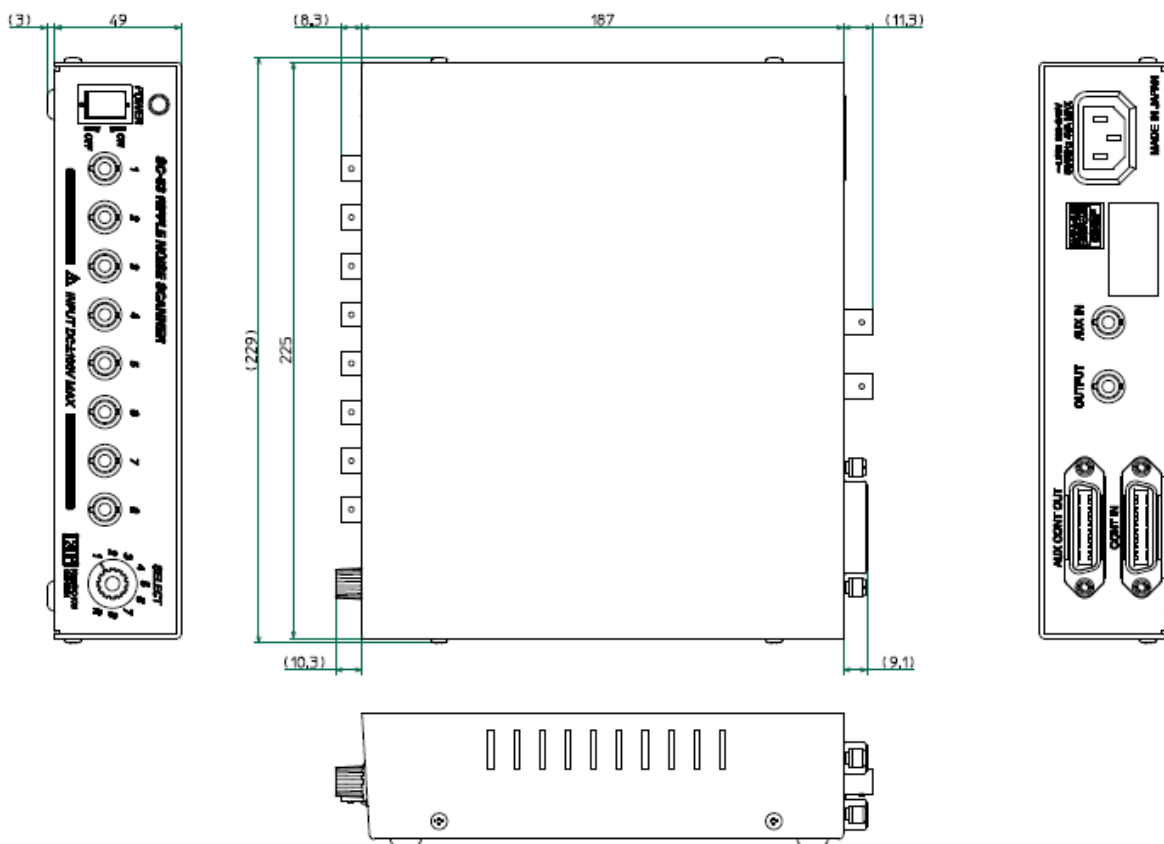
リレー交換の目安	電氣的寿命：約 500 万回（±100V 60 回/分 周囲温度 23℃）
	機械的寿命：約 1 億回
	※リレーはユーザーによる交換が可能。
ノイズ	本製品の傍にはノイズの影響を受けやすい機器を置かないこと。
静電気	コネクタ内部のピンへ直接静電気を印加しないこと。

- ※1 外形寸法は突起部（コネクタ、スイッチ、ネジ）を含まない値です。
- ・信号系については旧モデル SC-82 と切断電圧が異なります。
 - ・外部コントロール部については旧モデル SC-82 と互換性があります。

2) 内部構成



3) 外観寸法図



SC-83
リップルノイズスキャナ
取扱説明書

M-2531
Rev1.2

株式会社 計測技術研究所
住所: 〒212-0055 川崎市幸区南加瀬 4-11-1
URL <https://www.keisoku.co.jp/>

本製品についてのお問い合わせに付きましては以下にご連絡ください。

営業的なお問い合わせ
TEL: 044-223-7950
FAX: 044-223-7960

E-mail: PWsales@hq.keisoku.co.jp

技術的なお問い合わせ
TEL: 044-223-7970
FAX: 044-223-7960

E-mail: PW-support@hq.keisoku.co.jp



M-2531 Rev. 1.2

SC-83 リップルノイズスキャナ
取扱説明書